

# 沖縄県における季節性の 現状と課題

# 1 沖縄県における季節性の現状

- 沖縄県の季節性について人数や消費額などのデータから把握。
- コロナ感染拡大前の2019年データを使用。
- 比較対象としてハワイの季節性をデータから把握。
- 季節性の度合いは、下表に示す複数の指標から把握する。

指標	計算式	説明
ピーク期比率	ピーク期人数／年間人数	ピーク期にどれだけ集中しているか
ピーク：オフ比	ピーク期人数／オフ期人数	ピーク期とオフ期にどれだけの差があるか

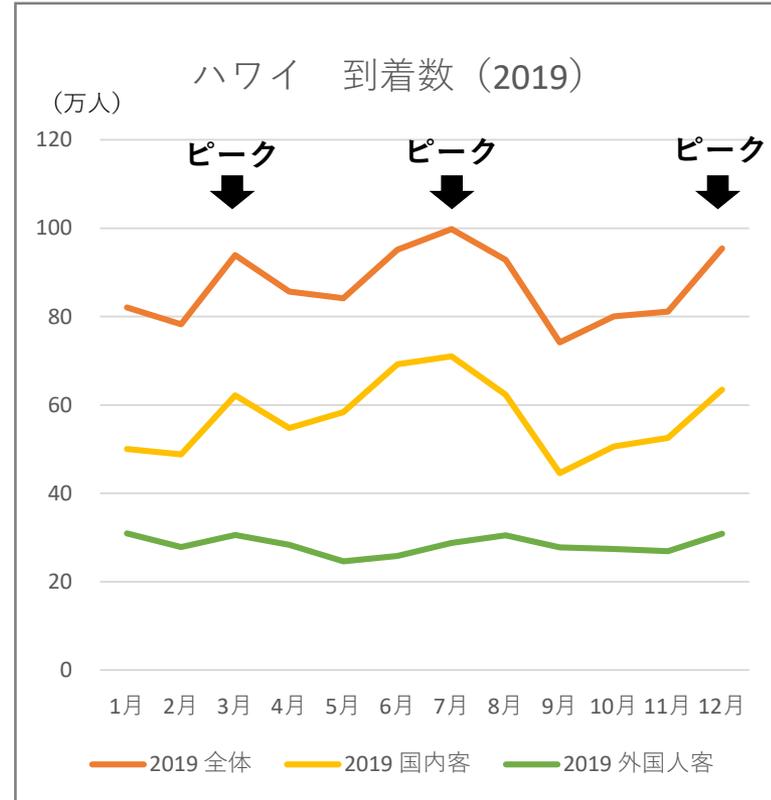
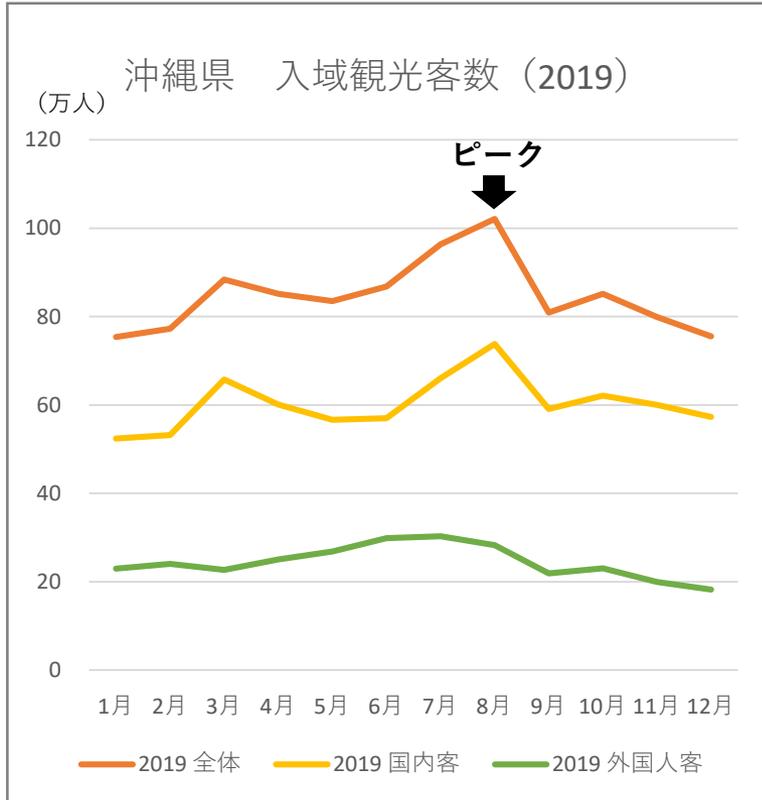
※いずれの指標も大きいほど季節性が大きく、小さいほど平準化していることを示す

## 2 用語の整理

消費額	旅行者による支出額の総額
消費単価	旅行1回あたりの1人あたり支出額の平均値
平均泊数	旅行1回あたりの泊数の平均値
客室稼働率	(販売可能な) 延べ客室数に占める販売客室数の割合
平均客室単価	販売された客室の1室1泊あたり料金の平均値
RevPAR	(販売可能な) 客室1室1泊当たりの宿泊収入 (客室稼働率 × 平均客室単価)
労働生産性	付加価値 / 従業者数

# 3-(1) 人数（月別）

- 沖縄県とハワイの月別人数の季節性（変動の大きさ）は同程度。
- ただしハワイはピーク月とオフ月が分散しており、沖縄県とは異なる特徴。



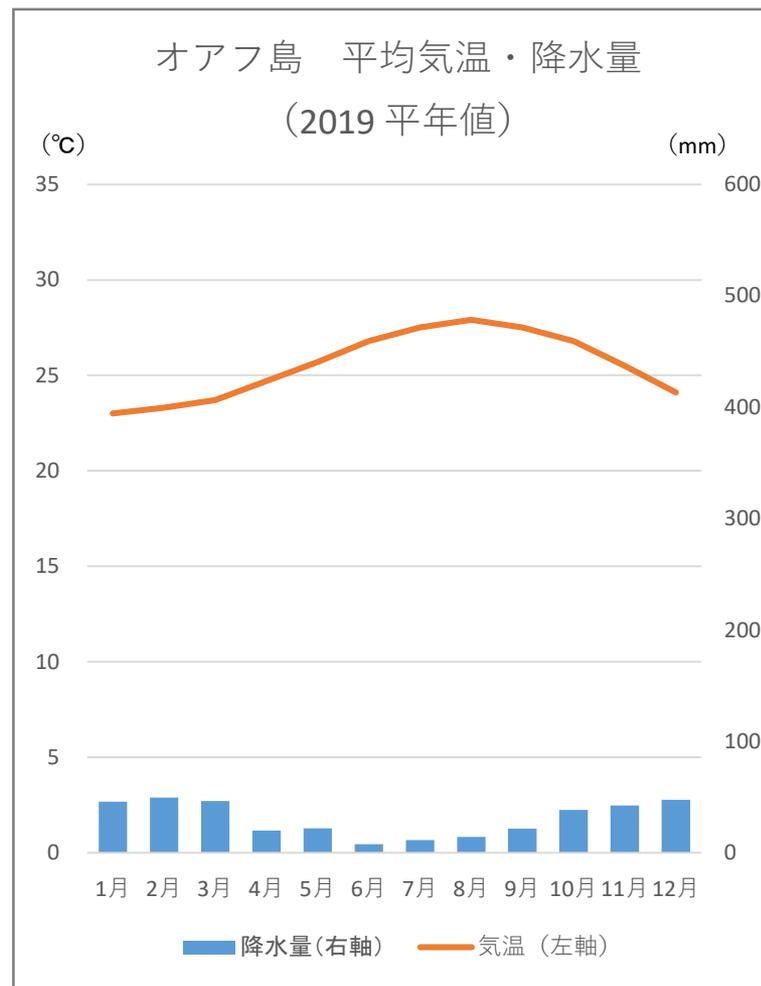
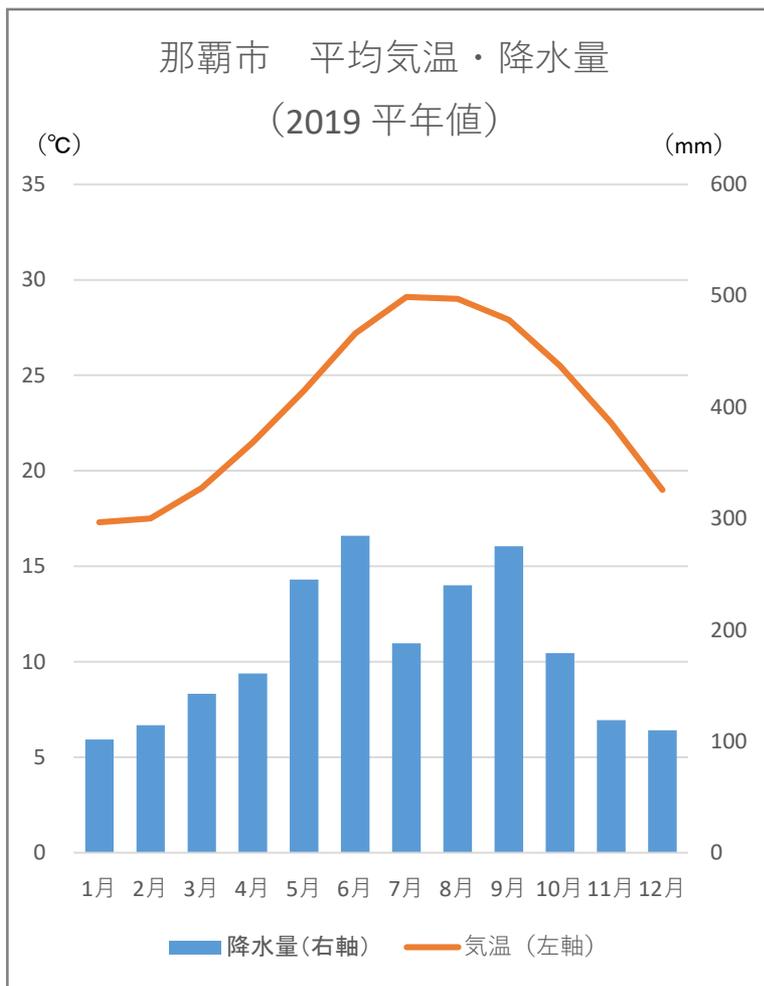
	沖縄県	ハワイ
ピーク期比率（ピーク期の集中度合い）	10.0%	9.6%
ピーク：オフ比（ピーク期とオフ期の差）	1.36	1.35

沖縄ピーク期：8月、沖縄オフ期：1月、ハワイピーク期：7月、ハワイオフ期：9月

出典 沖縄県：入域観光客統計、Hawaii Tourism Authority: Annual Visitor Research Report

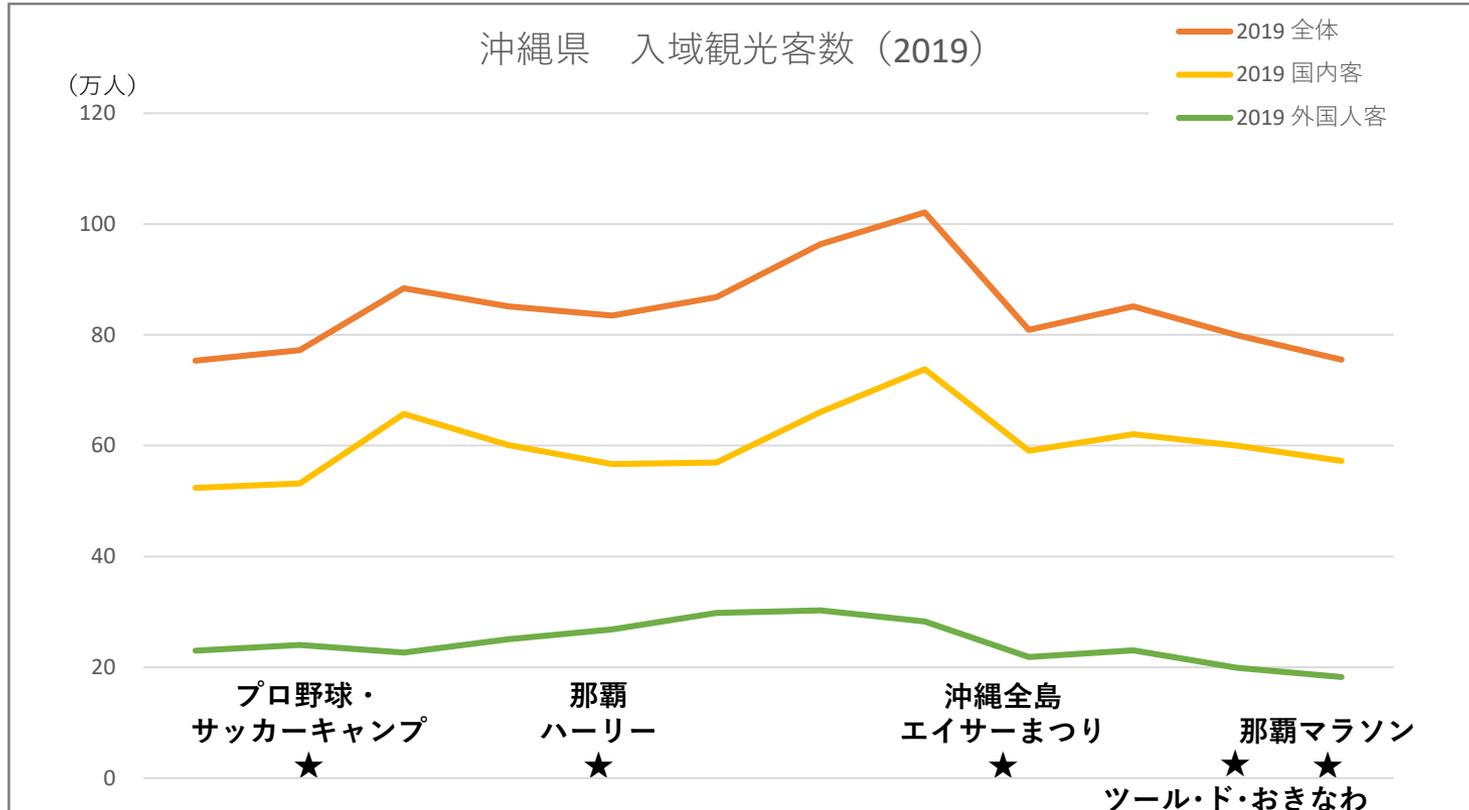
## 【参考】 気温・降水量の違い

- 気候条件は大きく異なる



## 【参考】長期休暇・イベントの違い（沖縄県）

- 外国人客は1-2月の長期休暇による旅行需要がオフ期を下支え。

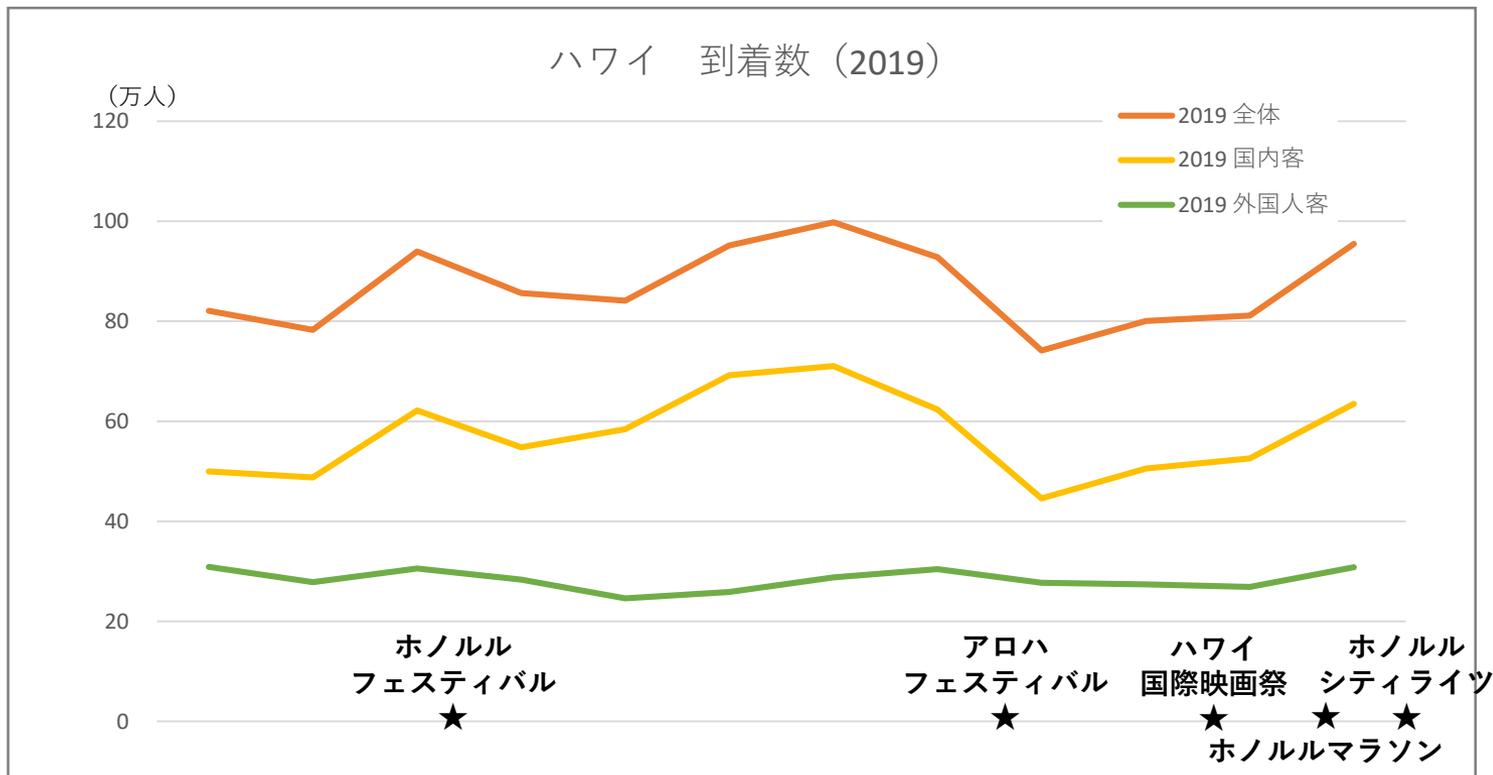


小中学生の連休	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
日本	■											
台湾	■	■					■	■				
中国	■	■	■	■			■	■		■		■

地域によっては長期休暇となる期間  
出典 沖縄県：入域観光客統計

## 【参考】長期休暇の違い（ハワイ）

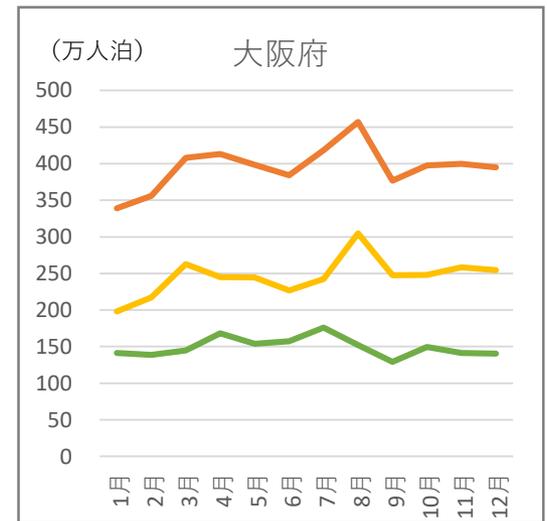
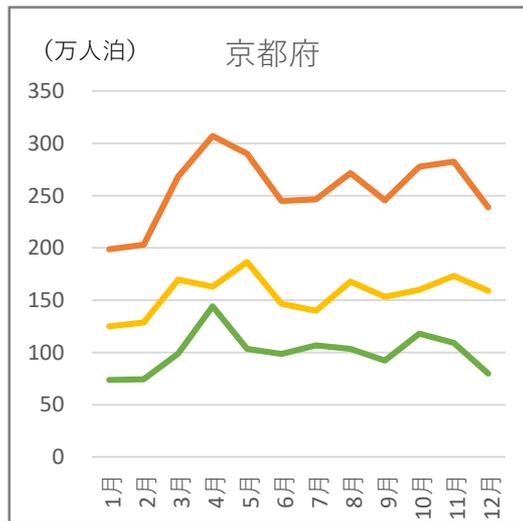
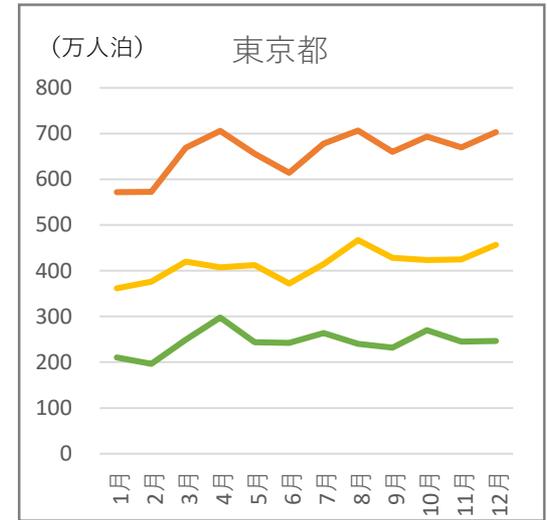
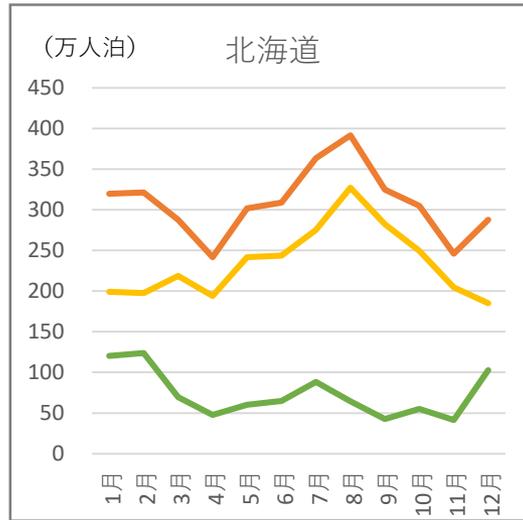
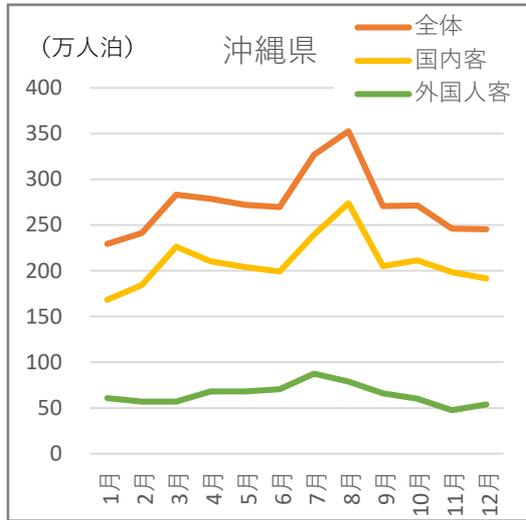
- 国内客の季節性は長期休暇に大きく影響。オフ期にイベント実施。



小中学生の連休	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
米国（カリフォルニア）	■					■	■	■	■	■		■
カナダ	■		■		■		■	■	■	■		■
日本	■			■	■			■	■	■		■

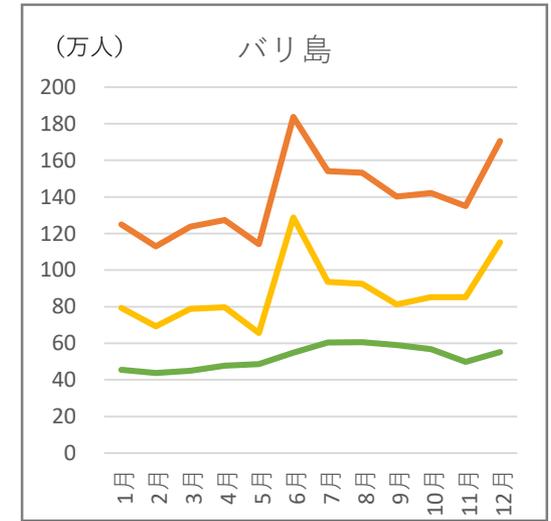
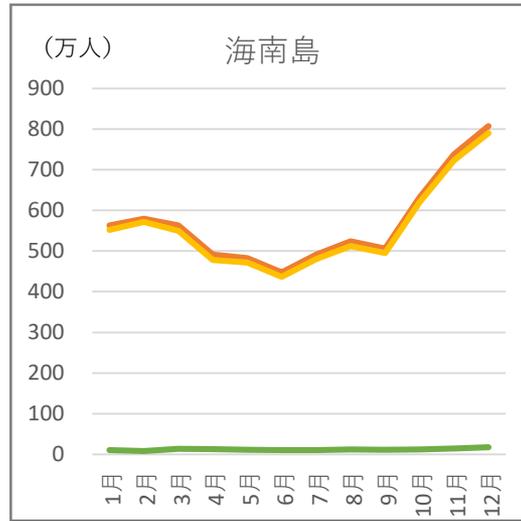
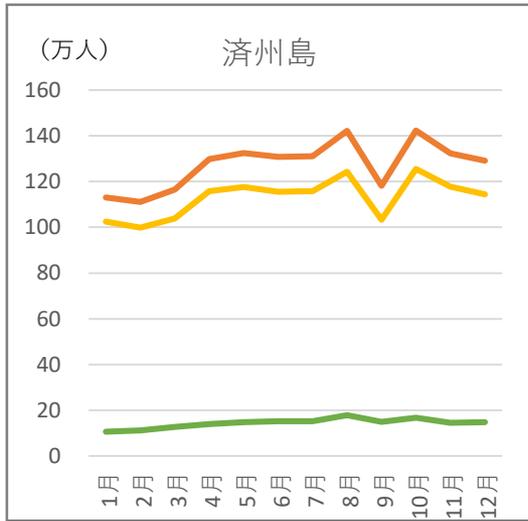
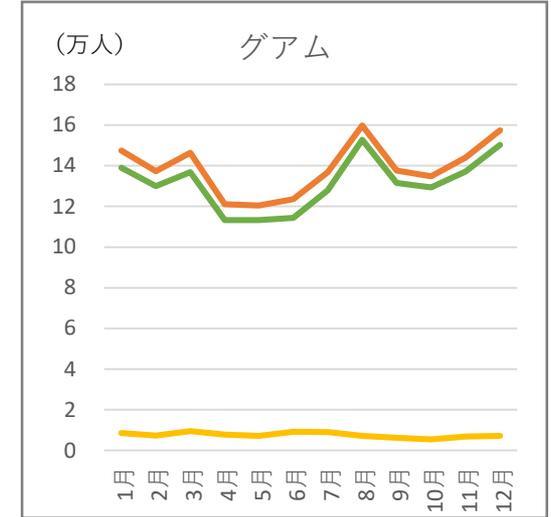
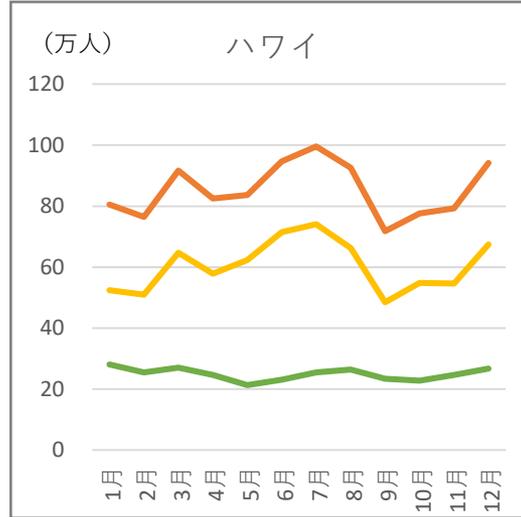
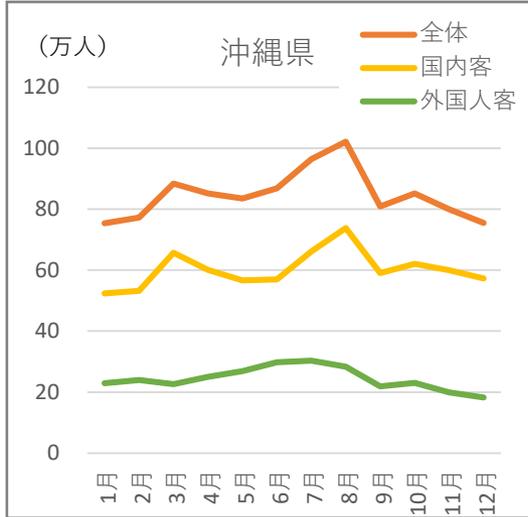
■ 地域によっては長期休暇となる期間

## 【参考】国内他地域の状況（2019年月別延べ宿泊者数）



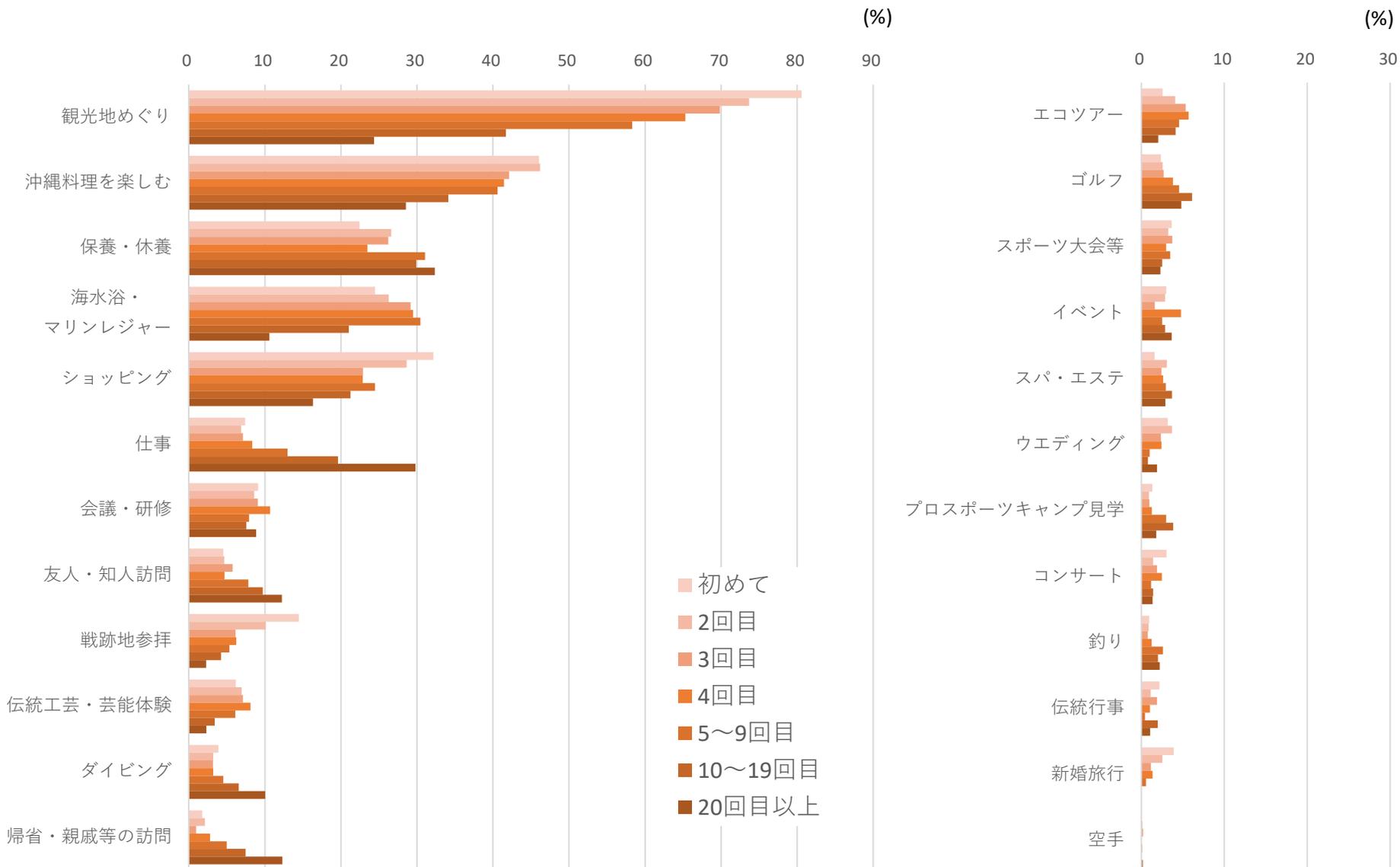
出典 観光庁: 宿泊旅行統計調査

# 【参考】海外観光地の季節変動（2019年 月別・旅行者数）



出典 沖繩県: 入域観光客統計, Hawaii Tourism Authority: Annual Visitor Research Report, Guam Visitors Bureau: Visitor Arrival Statistics, The Jeju Special Self-Governing Provincial Tourism Association: 済州観光統計, 海南省統計局: 海南统计月报, Statistics of Bali Province: <https://bali.bps.go.id/>

# 【参考】 来訪回数別 旅行中の活動内容実施率 (2019年度)

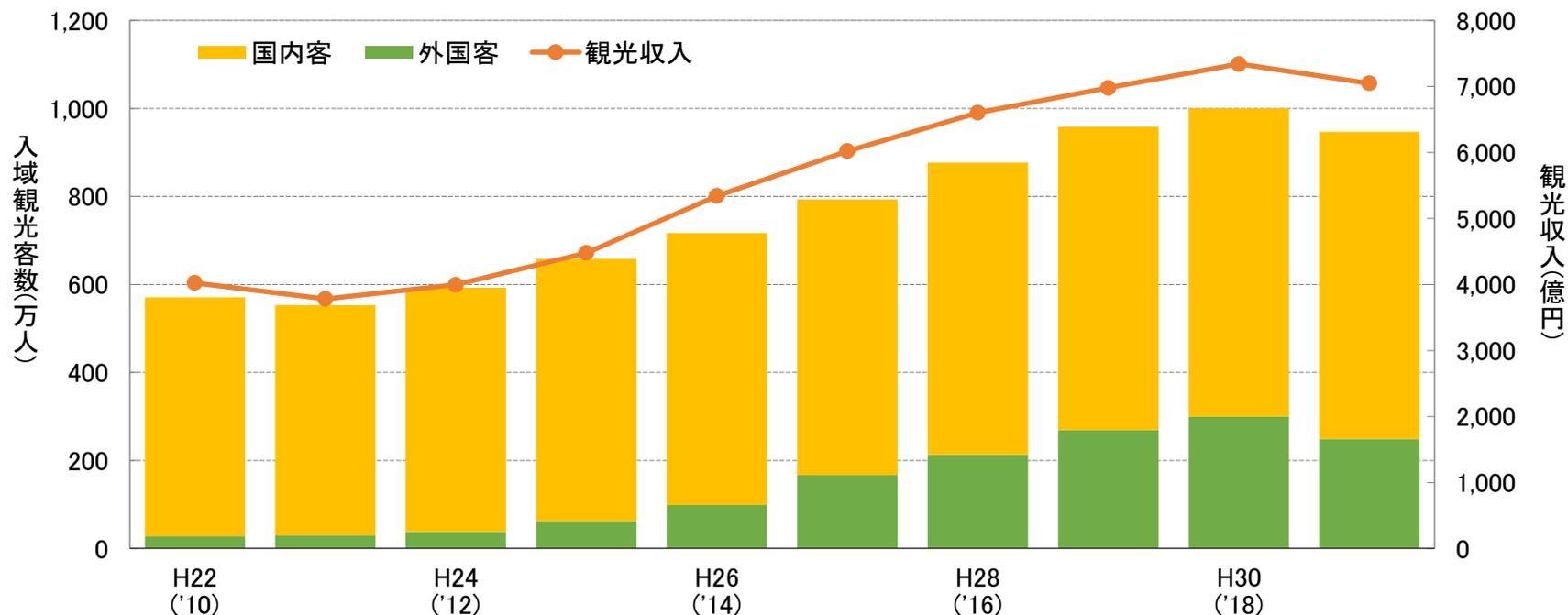


出典 沖縄県: 観光統計実態調査

## 3-(2) 人数（経年推移）

- コロナ禍以前までの10年間では、各施策の推進により、特に外国客が大きく伸びてきていたが、国内客についても順調に伸びていた

入域観光客数と観光収入の推移（年度）

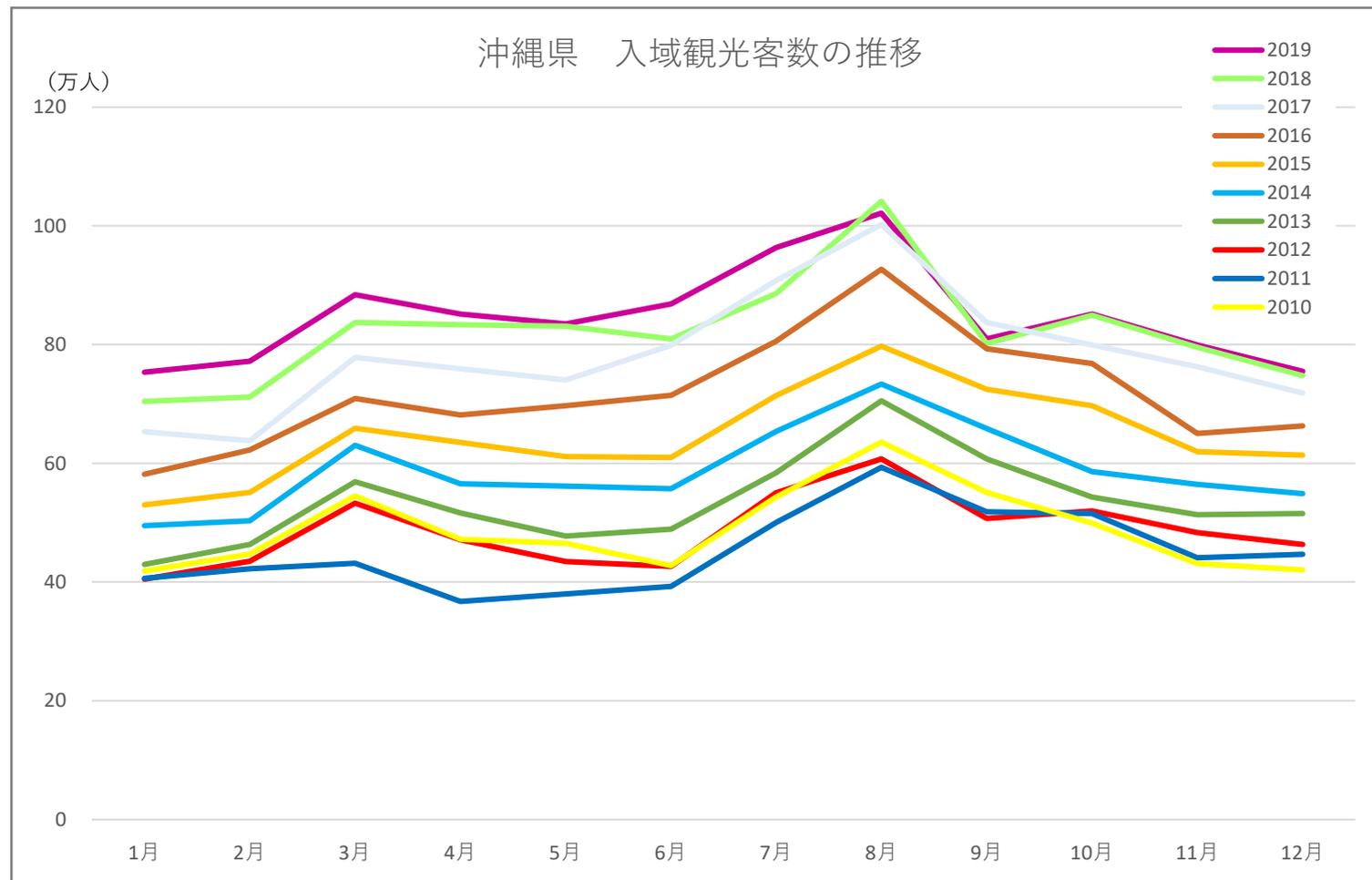


	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
国内客	5,422,500	5,226,600	5,542,200	5,953,100	6,183,900	6,266,000	6,640,100	6,887,900	7,003,500	6,978,800
外国客	282,800	301,400	382,500	627,200	986,000	1,670,300	2,129,100	2,692,000	3,000,800	2,490,400
合計	5,705,300	5,528,000	5,924,700	6,580,300	7,169,900	7,936,300	8,769,200	9,579,900	10,004,300	9,469,200

出典 沖縄県: 入域観光客統計、観光統計実態調査

### 3-(3) 人数（月別・経年推移）

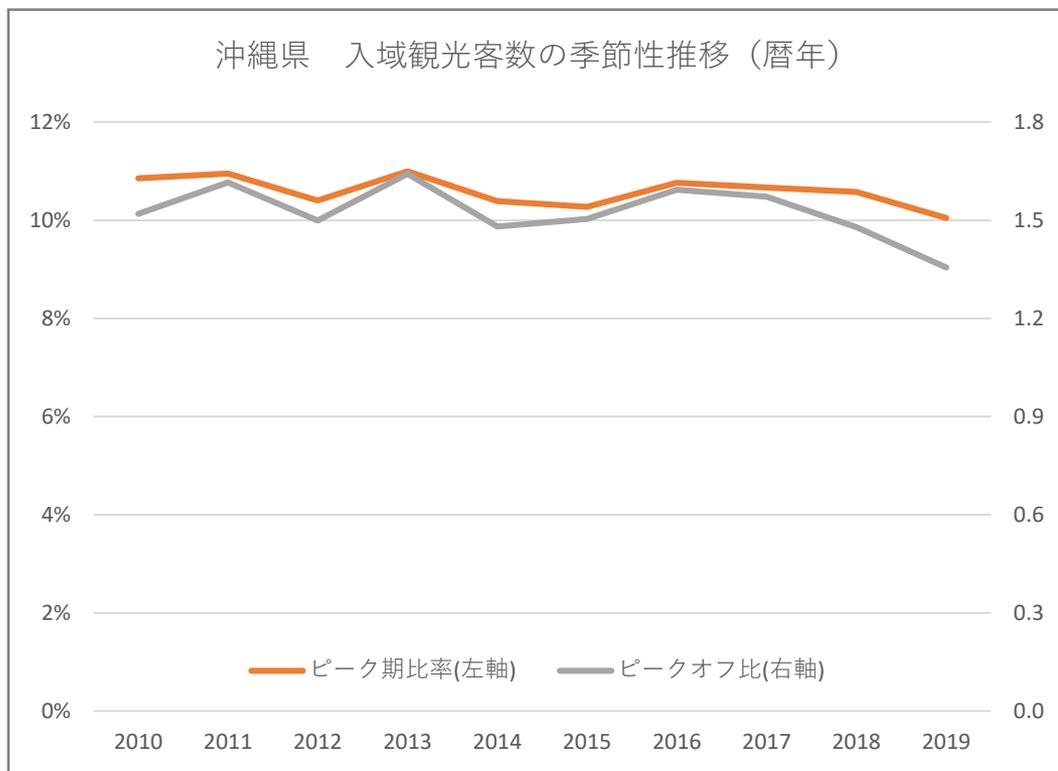
- 10年間で全体が底上げされたものの、オフ期の人数と同様にピーク期の人数も伸びたことから季節変動のパターンは大きく変わっていない



出典 沖縄県: 入域観光客統計

### 3-(4) 人数（月別・経年推移）

- ピークへの集中度合い、ピーク期とオフ期の差は大きくは変わっていない

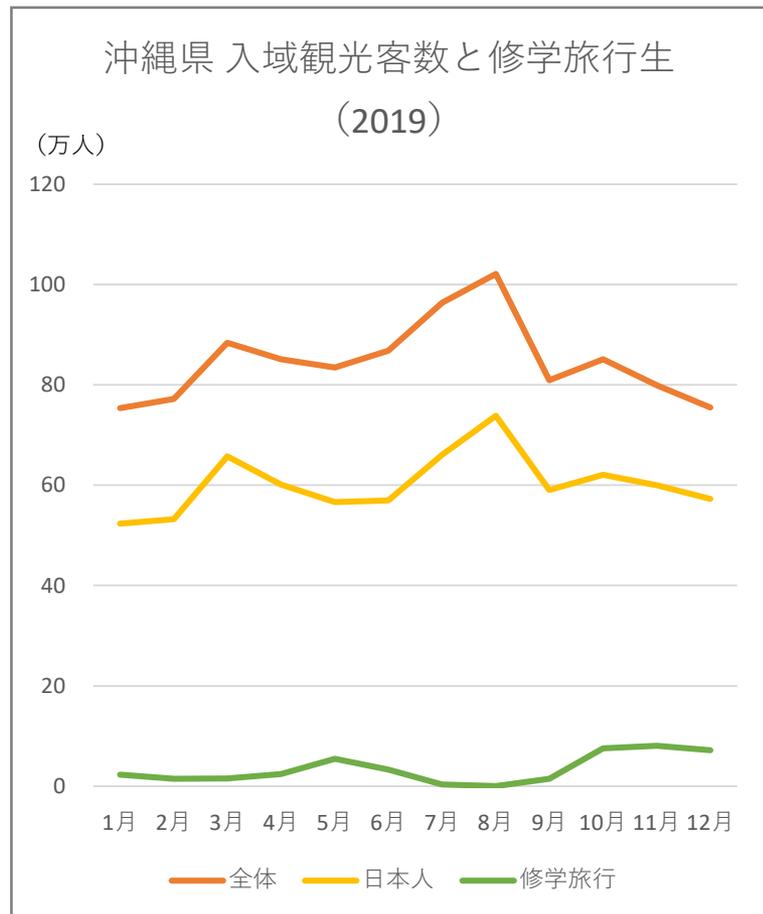
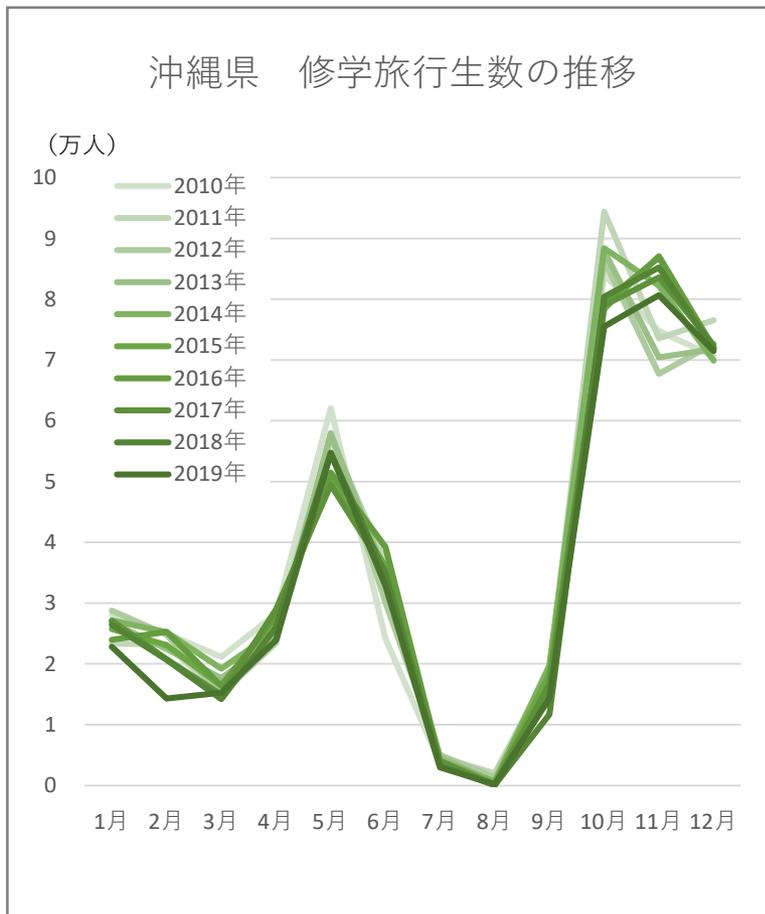


指標	説明
ピーク期比率	ピーク期にどれだけ集中しているか
ピーク：オフ比	ピーク期とオフ期にどれだけ差があるか

出典 沖縄県: 入域観光客統計より算出

### 3-(5) 人数（修学旅行生）

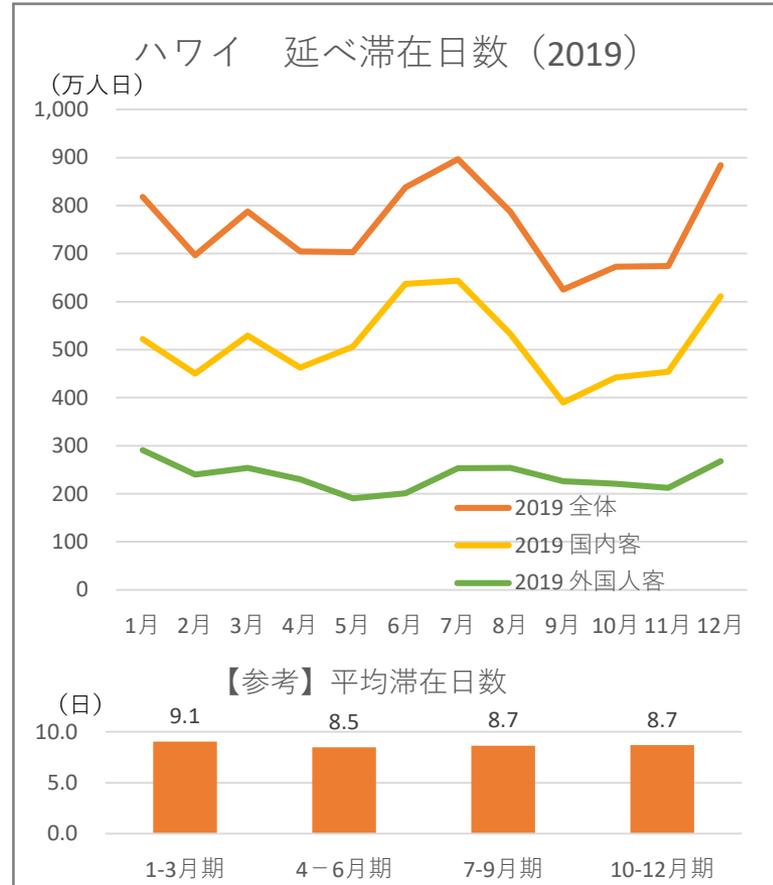
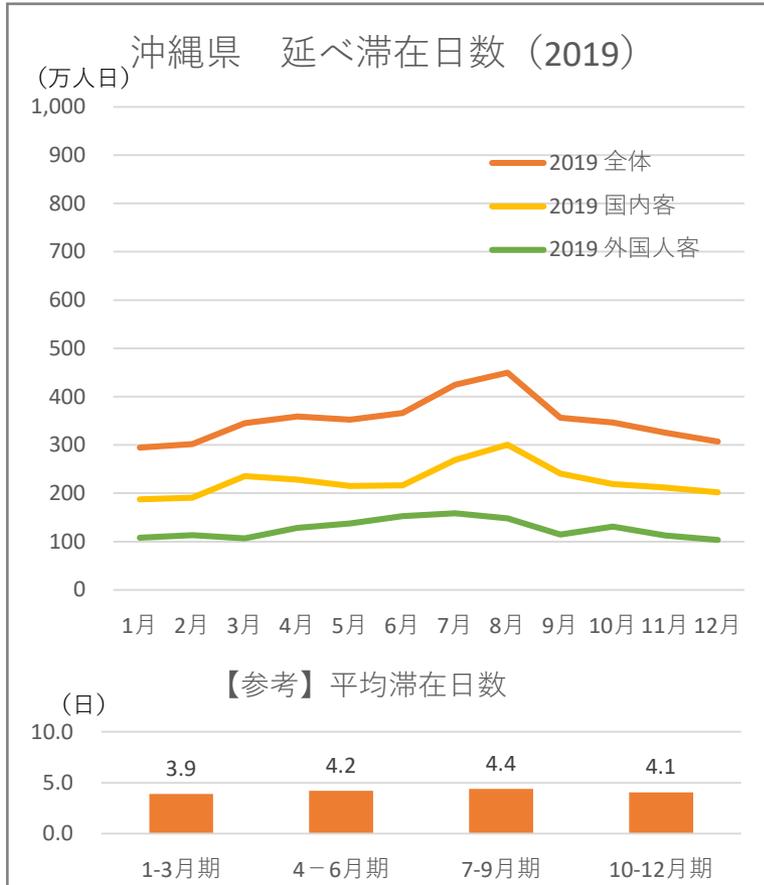
- 修学旅行生の季節性はほぼ固定化
- 国内旅行客の季節性緩和（客数の底上げ）に寄与



出典 沖縄県:修学旅行入込状況調査、入域観光客統計

# 3-(6) 延べ滞在日数（月別）

- ・ 沖縄県とハワイの月別延べ滞在日数の季節性は同程度

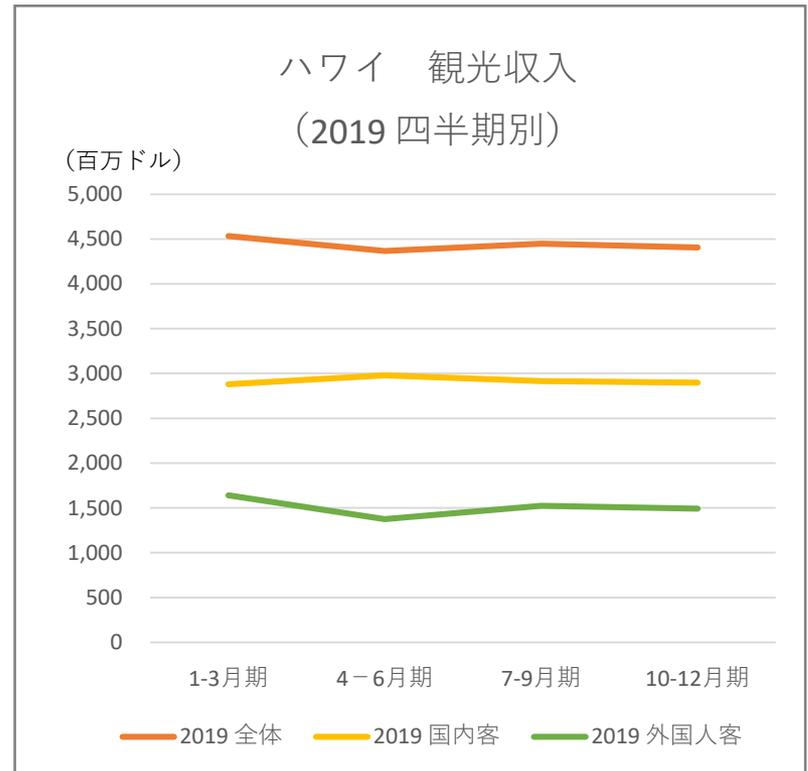
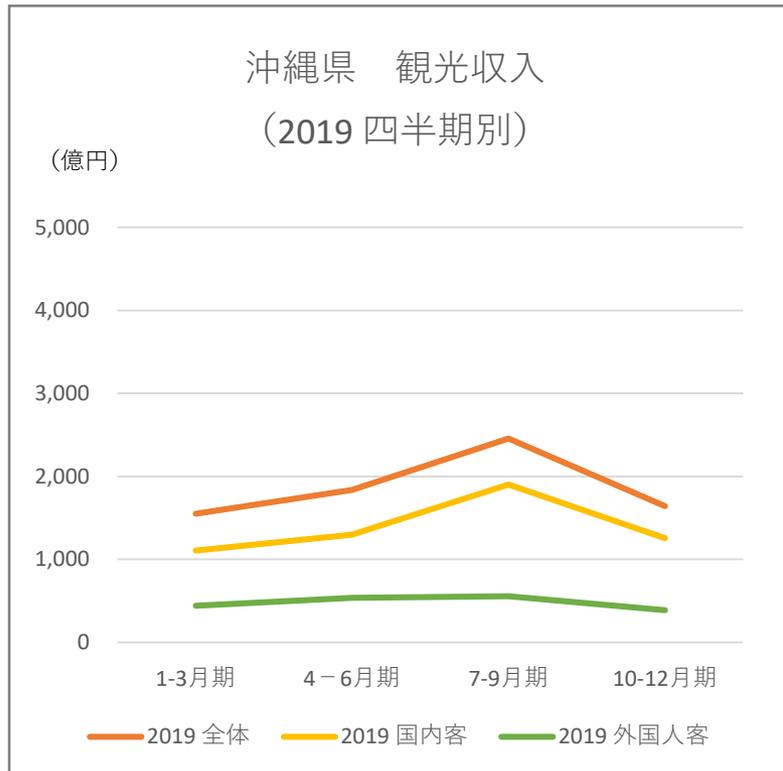


	沖縄県	ハワイ
ピーク期比率	10.6%	9.9%
ピーク：オフ比	1.53	1.43

沖縄ピーク期：8月、沖縄オフ期：1月、ハワイピーク期：7月、ハワイオフ期：9月

### 3-(7) 観光収入（四半期別）

- 観光収入の季節性は、四半期別で見るとピークが分散しているハワイの方が小さい



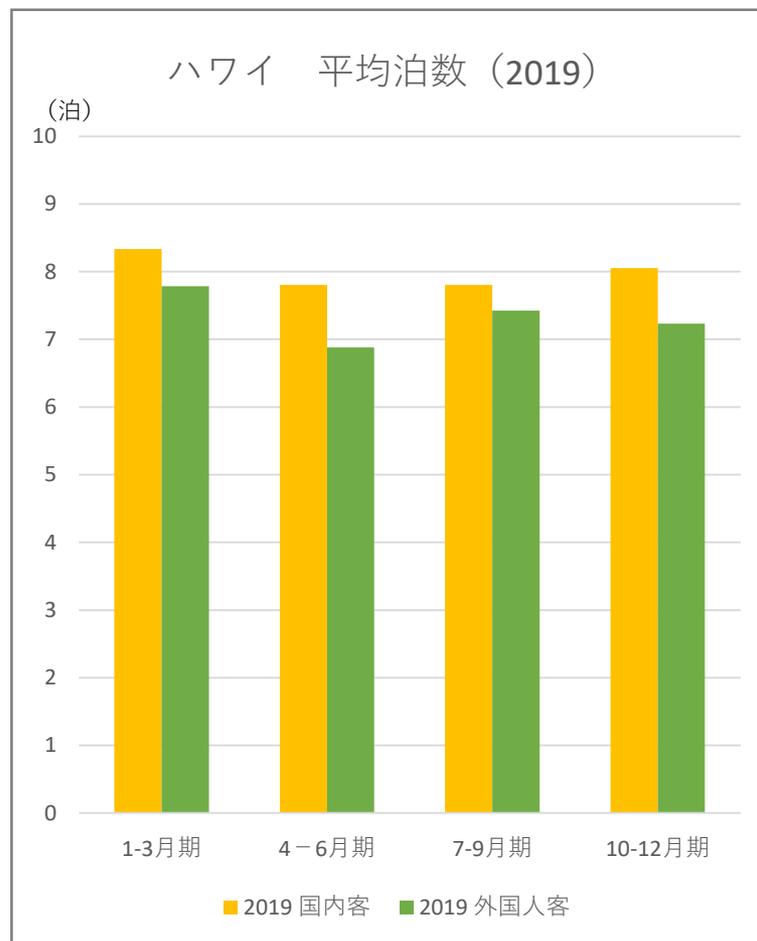
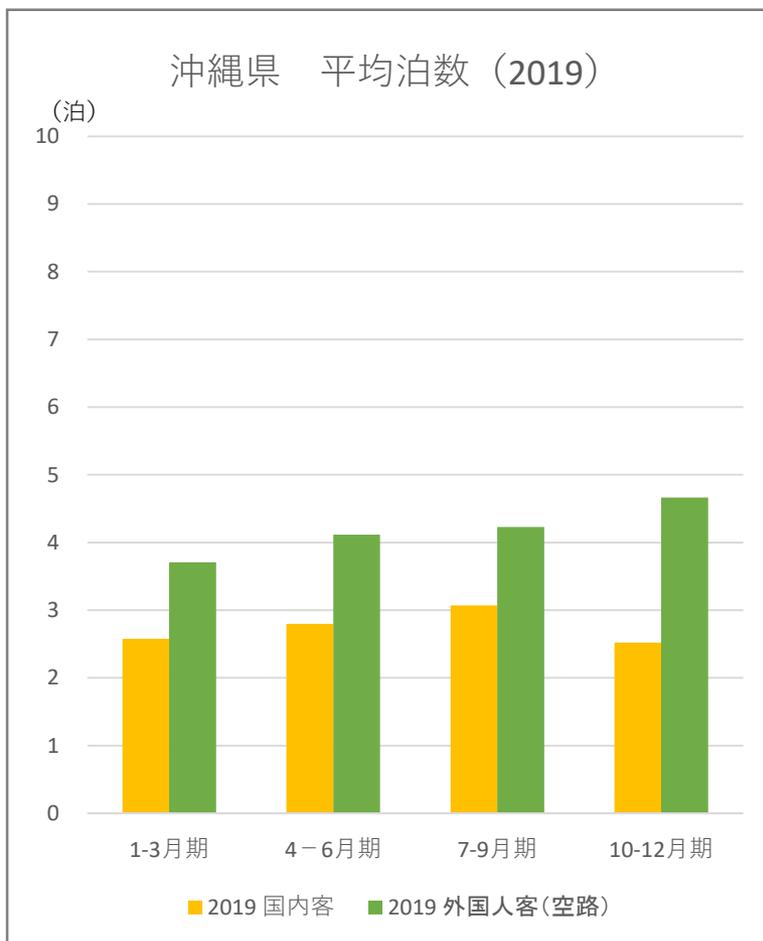
	沖縄県	ハワイ
ピーク期比率 (ピーク期の集中度合い)	32.8%	25.5%
ピーク：オフ比 (ピーク期とオフ期の差)	1.59	1.04

沖縄ピーク期：7-9月期、沖縄オフ期：1-3月期、ハワイピーク期：4-6月期、ハワイオフ期：1-3月期

出典 沖縄県: 観光統計実態調査、Hawaii Tourism Authority: Annual Visitor Research Report

## 3-(8) 平均泊数（四半期別）

- 沖縄県の国内客の平均泊数は、ピーク期により高くなる傾向がある



出典 沖縄県: 観光統計実態調査、外国人観光客実態調査、Hawaii Tourism Authority: Annual Visitor Research Report

## 3-(9) 消費単価（四半期別）

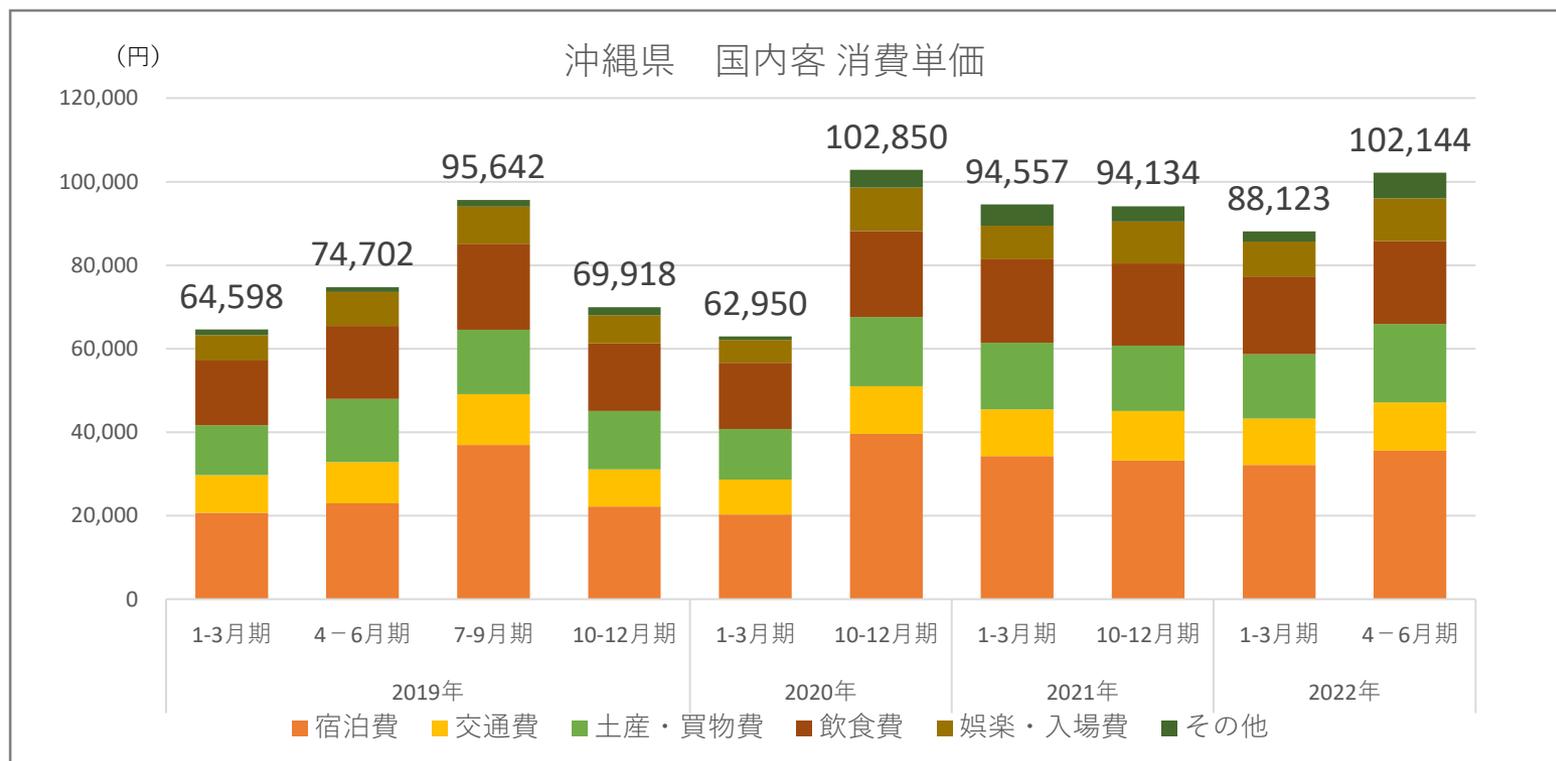
- 沖縄県の消費単価は、ピーク期に特に国内客が、より高くなる傾向がある



出典 沖縄県: 観光統計実態調査、外国人観光客実態調査、Hawaii Tourism Authority: Annual Visitor Research Report

## 【参考】消費単価（四半期別・直近の状況）

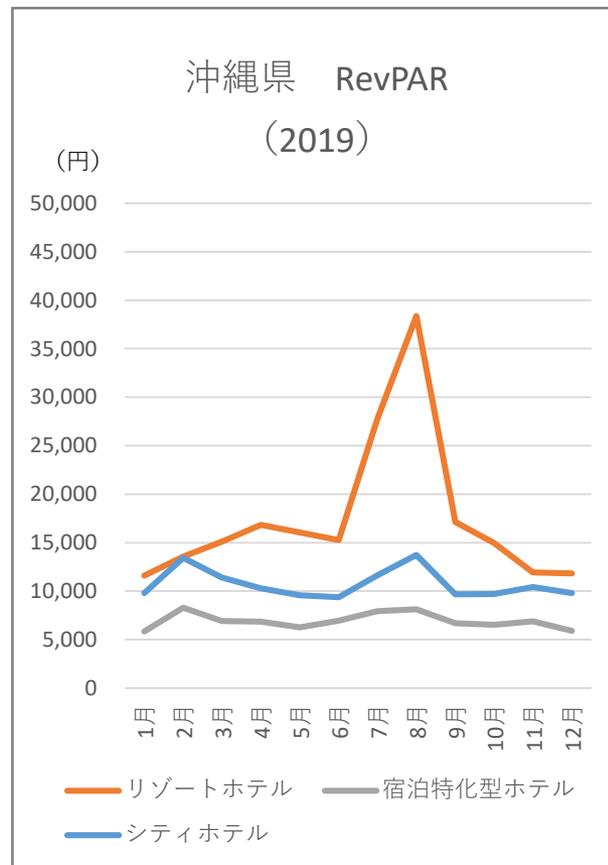
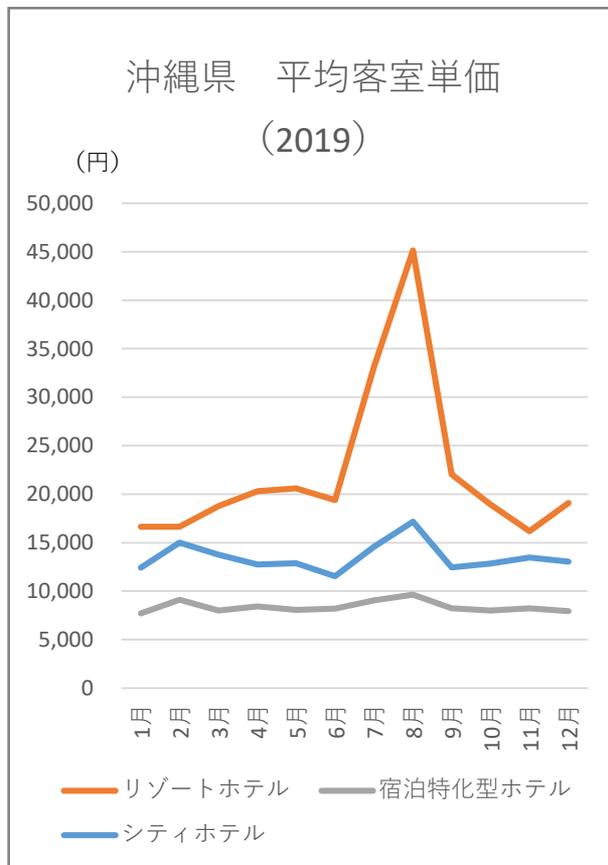
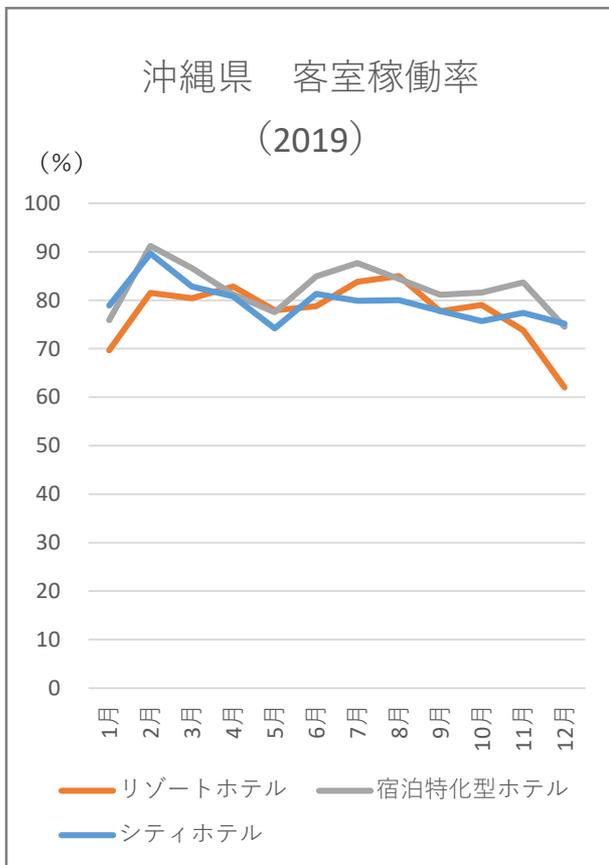
- ・令和2年度は、GoToキャンペーンの影響やリゾートホテル利用者、フリープラン型のパッケージ旅行者の割合が増えて全体の消費単価を引き上げたものと推測。
- ・令和3年度は、GoToキャンペーンの停止による反動減や消費単価が比較的低い一人旅や出張旅行者の割合が増えたが、所得の高い層や消費単価の高い夫婦、リゾートホテルで長期滞在される旅行者の割合が令和元年度よりも多かったため、引き続き消費単価も高い水準を維持している。
- ・令和4年度は、上記要因に加え、離島の訪問率が上昇したことなどから平均滞在日数が伸びており、消費単価の向上に繋がっている。



出典 沖縄県: 観光統計実態調査 ※2020年4-6,7-9月期と2021年4-6,7-9月期は新型コロナウイルス感染拡大による調査中止のため欠測

# 3-(10) 客室稼働率・客室単価・RevPAR（沖縄県）

- 沖縄県はピークシーズンにおけるリゾートホテルの客室単価が際立って高い

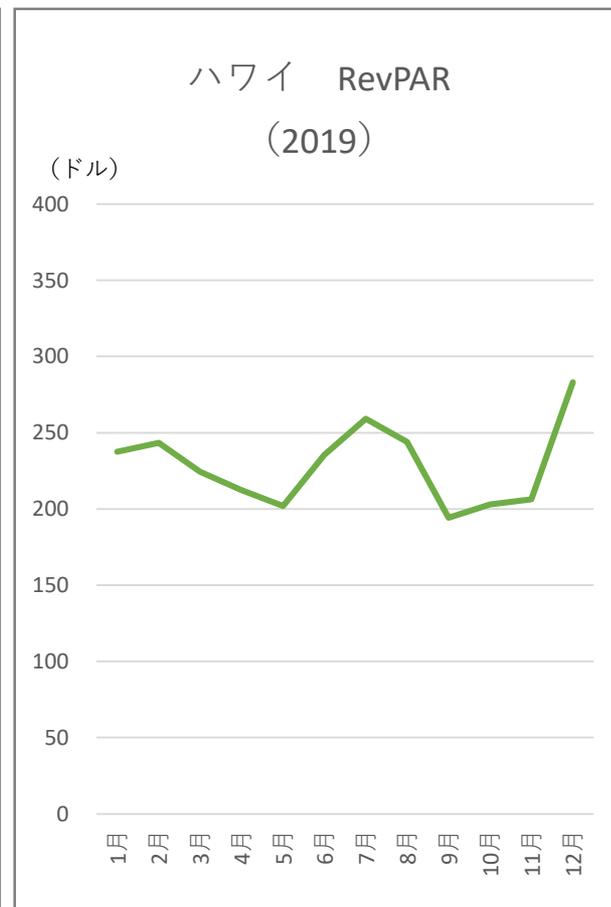
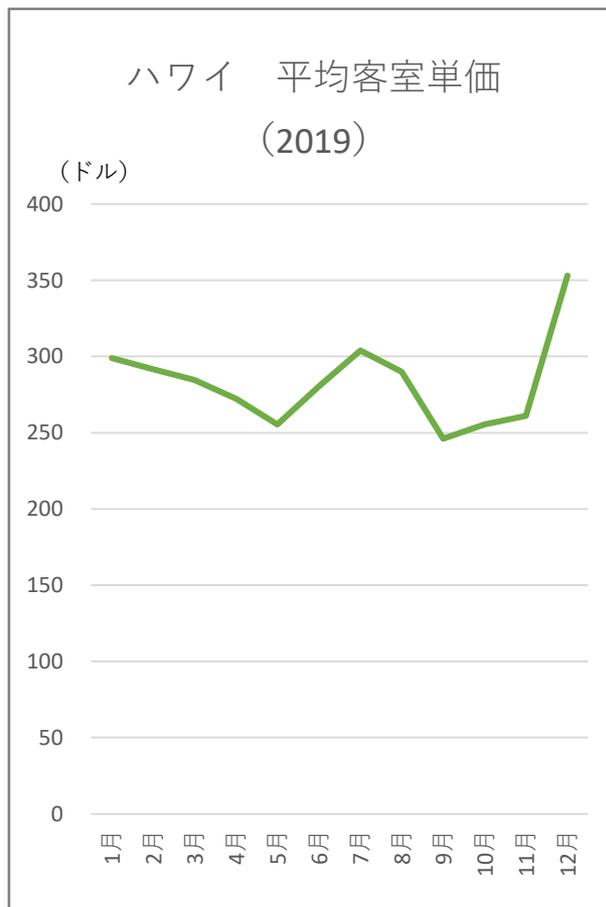
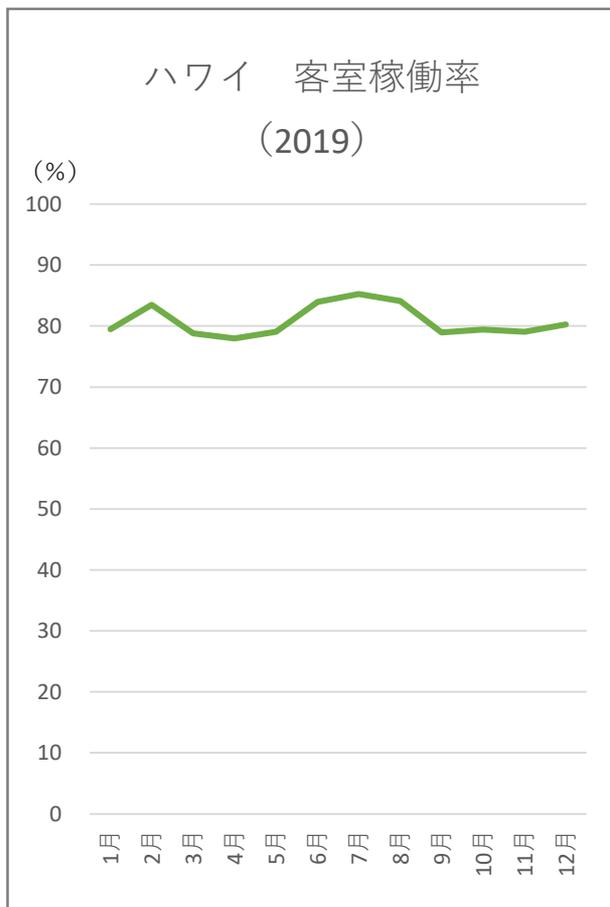


客室稼働率	販売可能な延べ客室数に占める販売客室数の割合
平均客室単価	販売された客室の1室1泊あたり料金の平均値
RevPAR	販売可能な客室1室1泊当たりの宿泊収入（客室稼働率×平均客室単価）

出典 沖縄振興開発金融公庫: 公庫レポート 県内主要ホテルの稼働状況

# 3-(11) 客室稼働率・客室単価・RevPAR (ハワイ)

- ハワイも、季節によって客室単価の変動がみられる



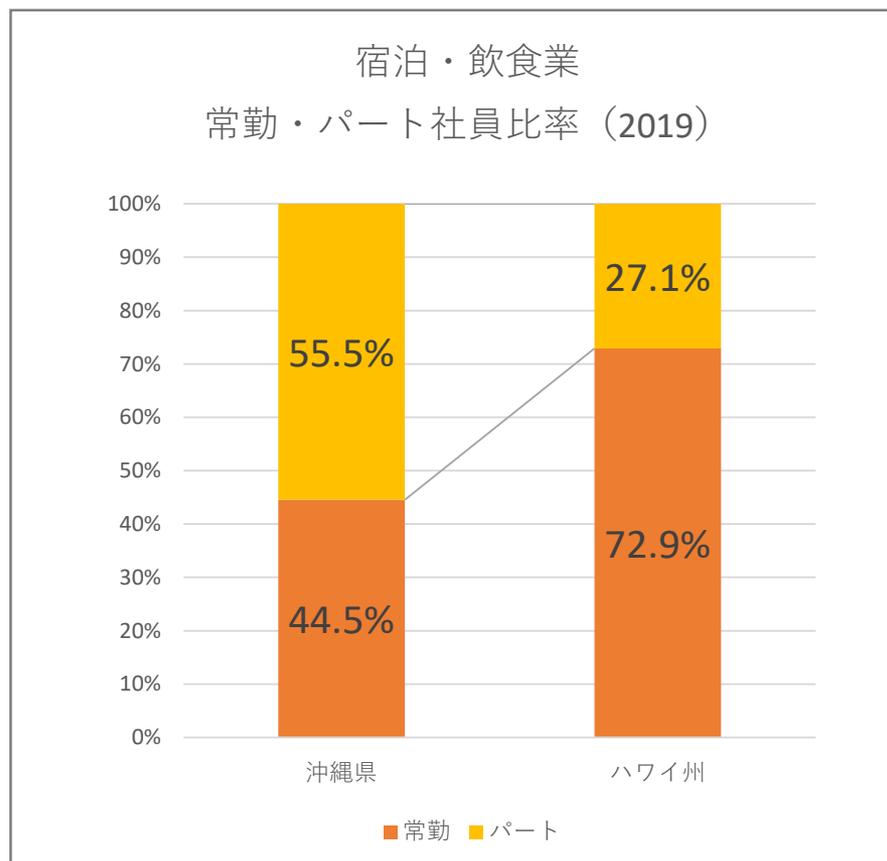
客室稼働率	販売可能な延べ客室数に占める販売客室数の割合
平均客室単価	販売された客室の1室1泊あたり料金の平均値
RevPAR	販売可能な客室1室1泊当たりの宿泊収入 (客室稼働率 × 平均客室単価)

## 4 沖縄県の季節性が関連している課題

### (1) 常勤社員比率

※常勤：フルタイムで週5日以上勤務している従業員

- 宿泊・飲食部門の常勤社員比率は、沖縄県とハワイで大きな差がみられる。

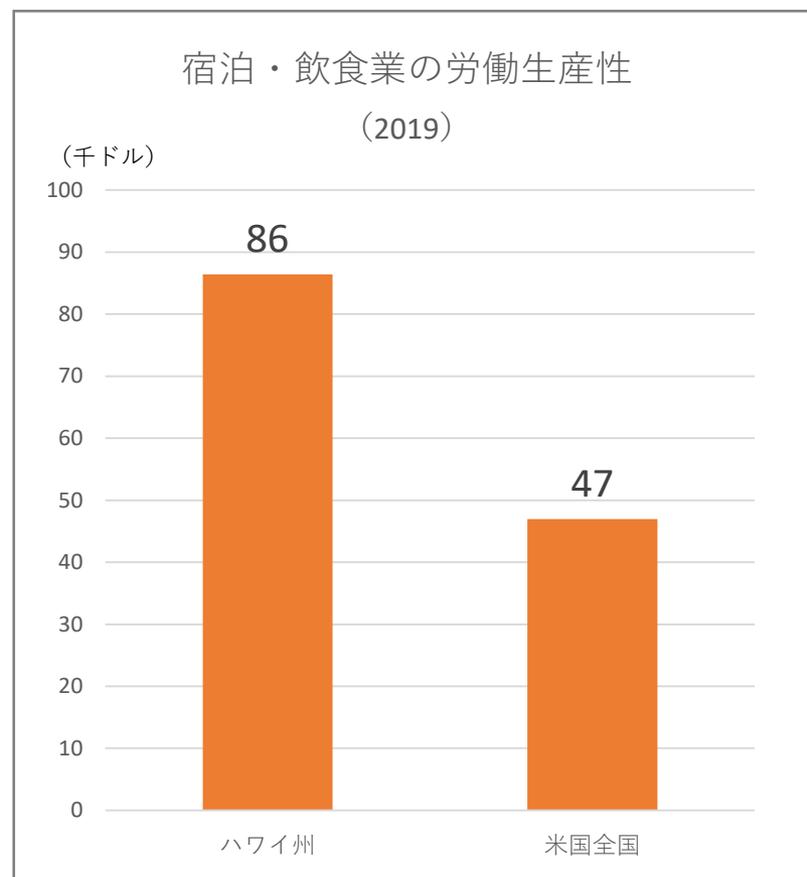
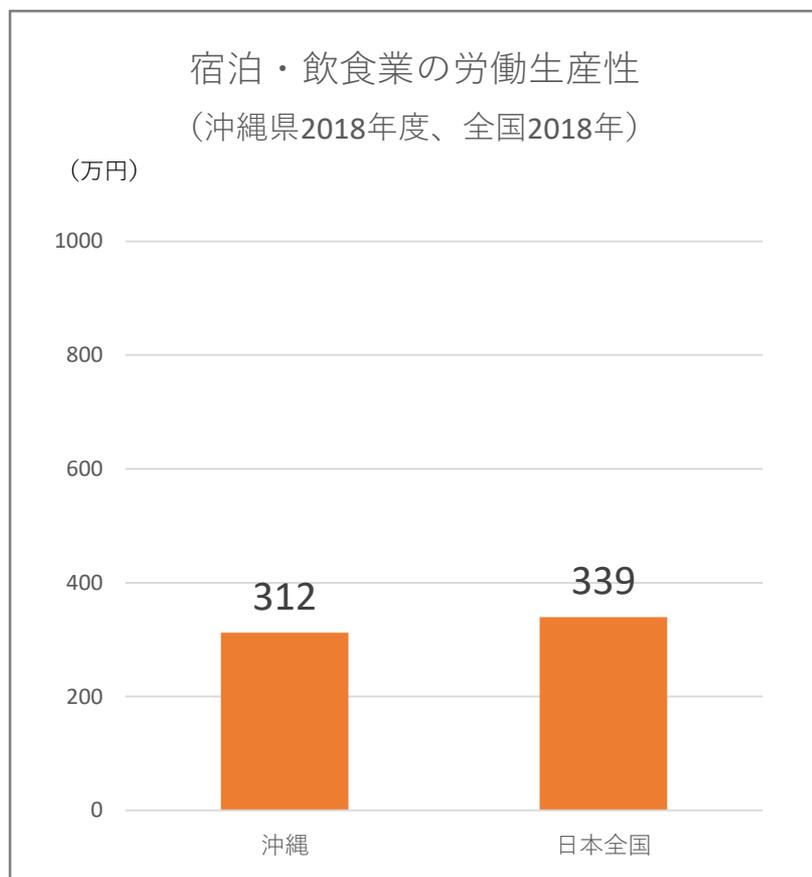


出典 沖縄県: 県民経済計算、DBEDT State of Hawaii: Hawaii's Working Population -An Analysis by Industry 2015-2019

## (2) 労働生産性

※労働生産性：従業員一人当たりの付加価値

- ・ 宿泊・飲食部門の労働生産性は、沖縄県は全国平均よりも低い水準であるのに対し、ハワイは全国平均よりも高い水準にある。

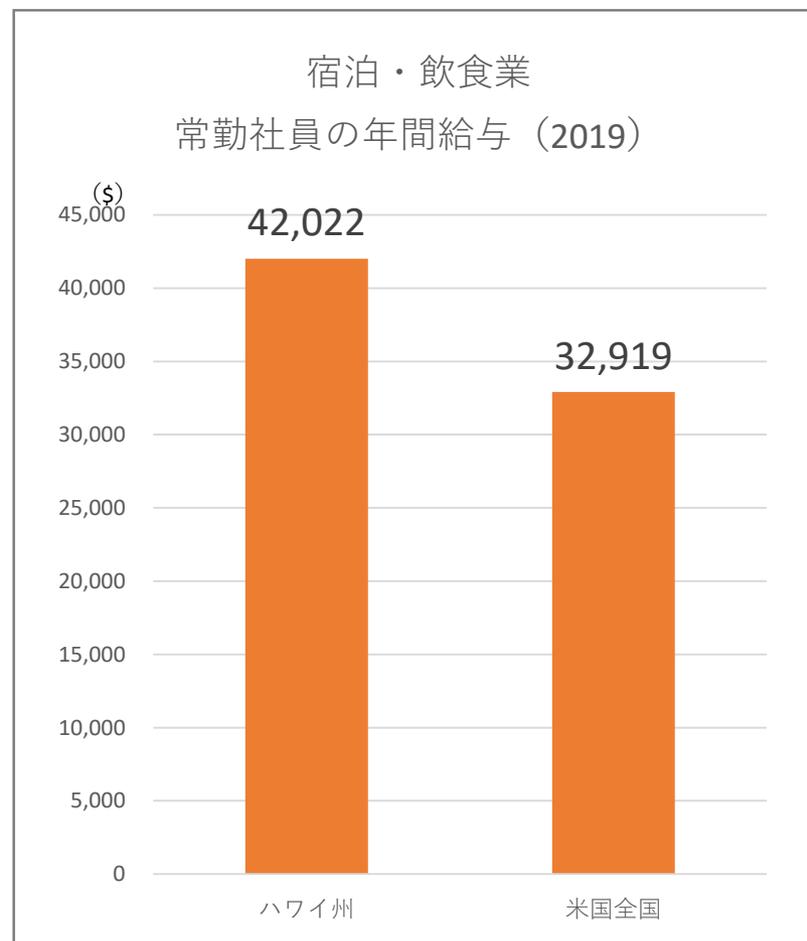
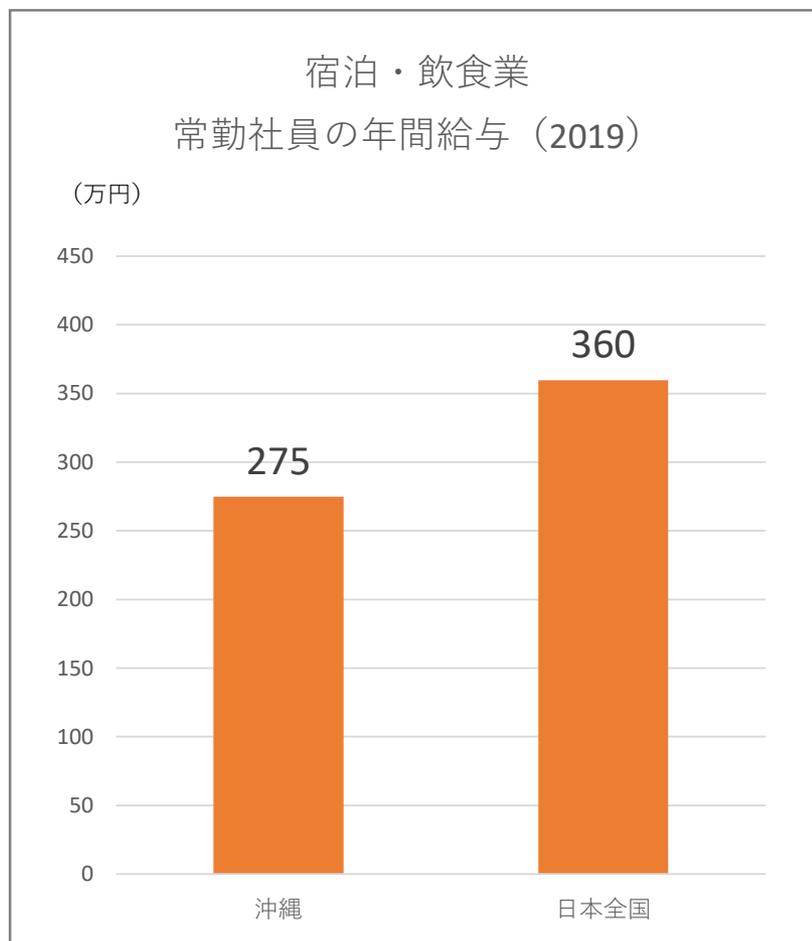


出典：沖縄県：県民経済計算、DBEDT, State of Hawaii: Hawaii's Working Population -An Analysis by Industry 2015-2019

The U.S. Bureau of Economic Analysis: GDP by Industry and Input-Output Statistics、U.S. BUREAU OF LABOR STATISTICS: Current Employment Statistics

### (3) 賃金

- 宿泊・飲食部門の常勤社員の年間給与は、沖縄県は全国平均よりも低い水準であるのに対し、ハワイは全国平均よりも高い水準にある。



出典 沖縄県: 県民経済計算、DBEDT State of Hawaii: Hawaii's Working Population -An Analysis by Industry 2015-2019

## 5 沖縄県の季節性の現状と課題まとめ

- 沖縄県の季節性はピーク期（7・8月）とオフ期（12・1月）が特定の時期に固まっていることが特徴。気温変化や長期休暇の影響が主因。
- 新型コロナウイルス感染拡大前までは、ショルダー期（4～6月）の需要増が進みつつあったが、依然としてピーク期とオフ期には大きな差がある。
- 国内客はピーク期の平均泊数と消費単価が高いため、消費額の季節性は、人数の季節性と比べて一段と大きくなる。
- オフ・ピーク差の影響もあり、宿泊・飲食部門の常勤雇用比率、労働生産性、賃金は低い状況にある。